

菊池市へようこそ

人口約 4 万 7 千人の菊池市は菊池川の両岸の肥沃な平野に広がっている。この地域はその生命線である川によって、二千年以上もの間、米作りを中心とした農業で栄えてきた。農業は地域文化の基盤であり、さまざまな伝統を生み出している。その多くは、菊池市の歴史の中で最も有名な 450 年にわたる菊池一族の統治時代に遡る。

菊池氏は、11 世紀にこの地に荘園を与えられた高官の子孫である。菊池一族は、外交に長け、戦場で活躍し、川を利用した交易を独占することで、九州の中央部を占めるまで領地を拡大し、豊かにした。その財産の一部を教育や芸術の振興に役立て、滅亡から 500 年経った現在もなお、その文化的遺産は受け継がれている。現在の菊池市には、菊池氏の英雄の銅像が点在し、一族の居城跡の高台にはその偉人を祀る神社が建っている。

18 世紀以降、菊池市は東北の山間部の景観を目当てに観光客が徐々に訪れるようになった。菊池渓谷はその名の通り、菊池川を源流とする渓谷で、滝が流れ、雄大な森が多様な動植物を育んでいる。